

せん ごく ぶ しょう
戦国武将として
し
知られているが、
かわ せ かい
川の世界でも
ゆう めい
有名じゃ

おぬし、
なかなか
やるのう

たけ だ しん げん うえ すぎ けん しん
武田信玄と上杉謙信との
たたか
戦いから

せん じん
先人の
はたらき

かわ なが せん ごく だい みょう たけ だ しん げん
～川の流れをよんだ戦国大名 武田信玄～

れき し あゆ ひと
歴史を歩んできた人は
どのようなことに取り組んだのだろうか

にっ ぽん
そもそも日本は……

パーセント わりあい ねんせい がくしゅう
※% や割合は 5 年生で学習します。

にっ ぽん ち けい
日本の地形

こく ど やく パーセント しん りん
国土の約 70% が森林。

のこ やく パーセント ひろ ひと びと せい かつ と ち
残りの約 30%の広さに、人々が生活する土地がある。

とく やく パーセント やく パーセント と ち ひく と ち
特に、約 30% のうち約 10% の土地が、低くてせまい土地。



ひく と ち
低くてせまい土地を

かい はつ
「どのように開発」し、

ひと びと かい てき せい かつ
「人々が快適に生活できるようにするか」が

むかし か だい
昔からの課題。

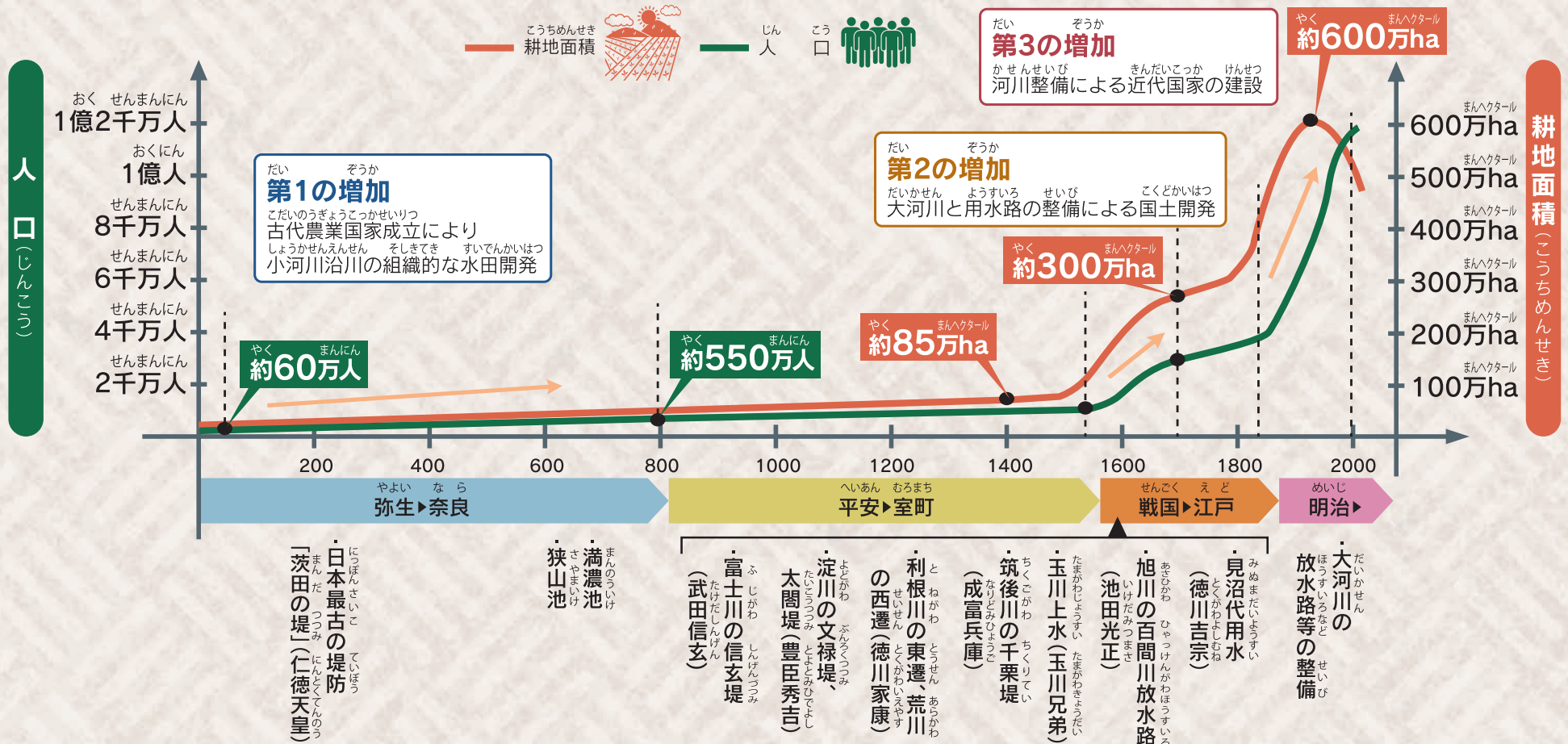
過去から現在まで



※当時の「石高」は経済力を示す。

※新しい土地を田んぼとして開発

することを「新田開発」という。

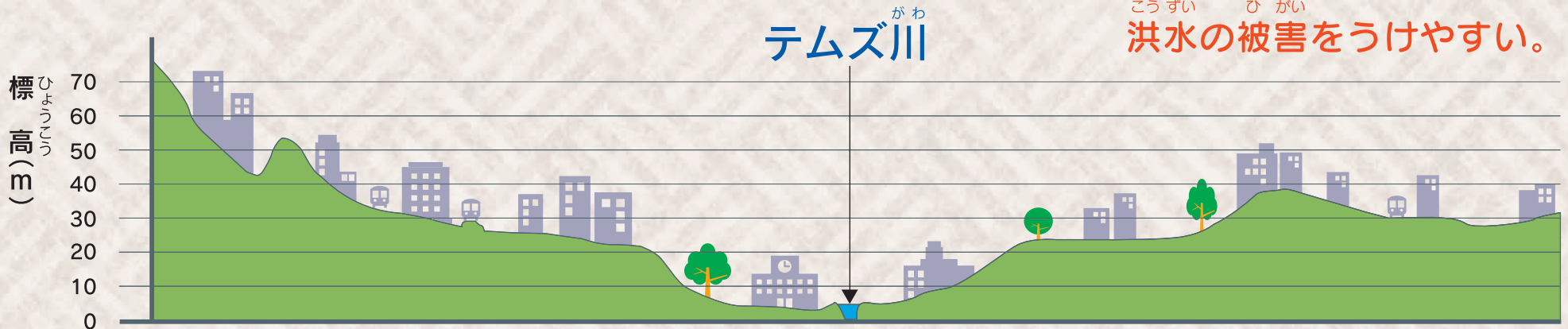


「川と人との関わり」国土交通省より
川と風土に関する懇談会編「望ましい河川像を求めて」建設省河川局河川環境課監修、財団法人リバーフロント整備センターより

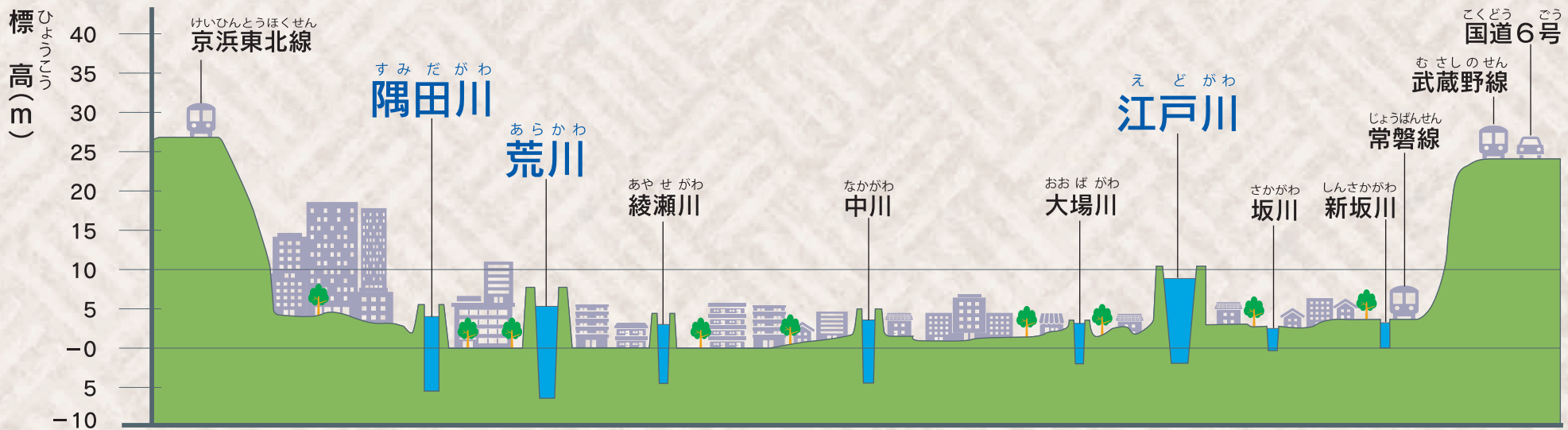
東京とロンドン 土地の高さを比べる

にっぽん とし おお
※日本における都市の多くは、
かせん ひく
河川よりも低いところにあり
こうずい ひがい
洪水の被害を受けやすい。

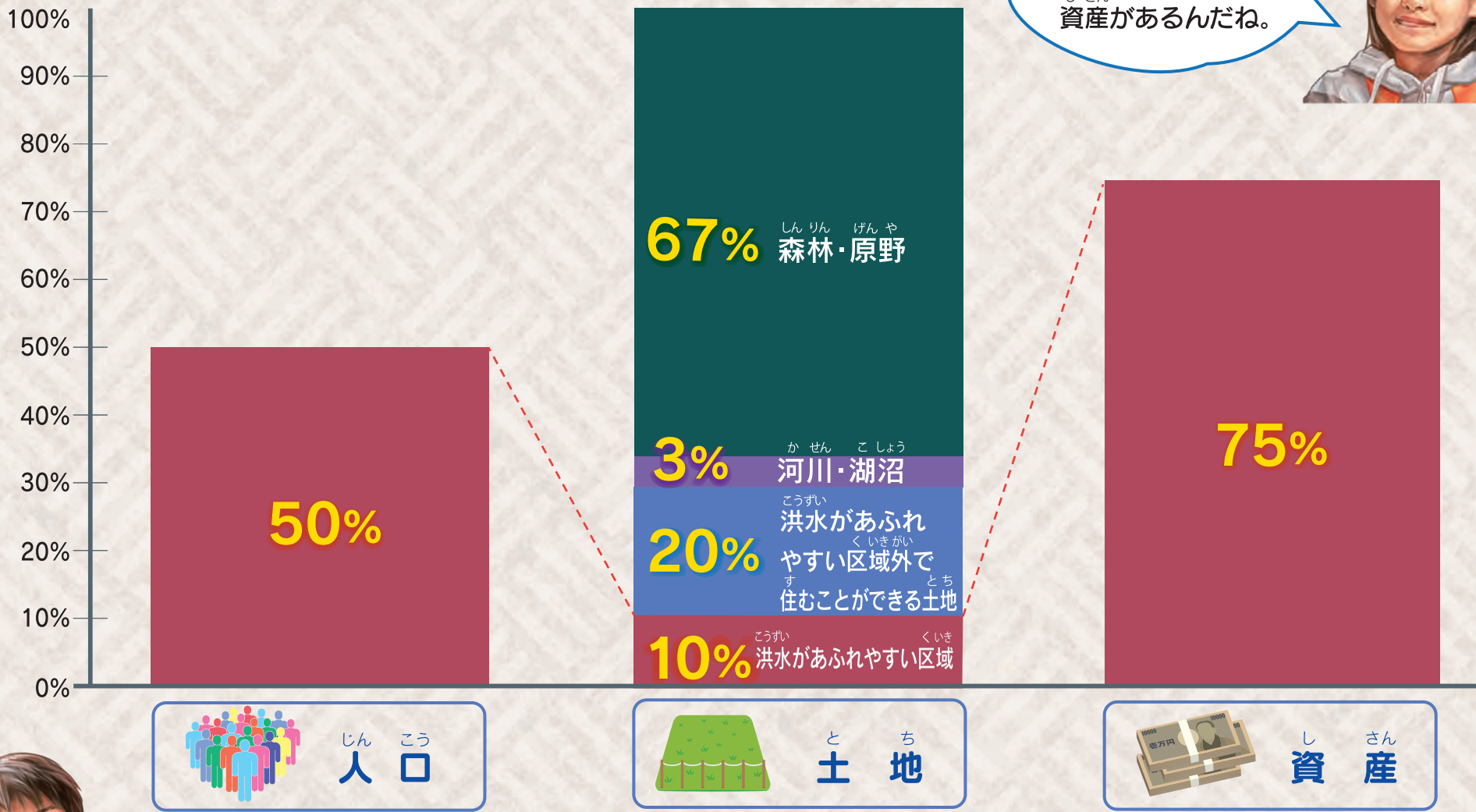
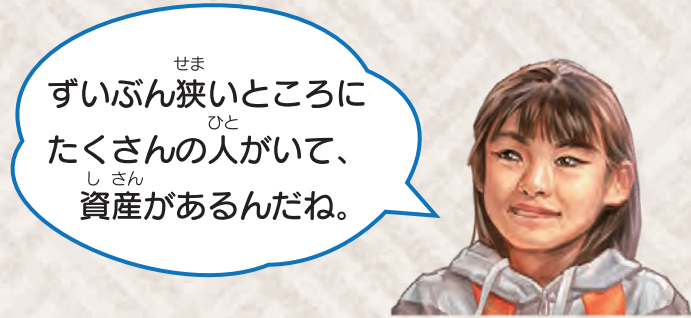
●ロンドンとテムズ川



●東京と江戸川・荒川・隅田川



にっ ぽん こく ど り ようじょうきょう じん こう めん せき し さん
日本の国土利用状況 (人口・面積・資産)



にっ ぽん こく ど り よう じょうきょう
【日本の国土利用状況】

「氾濫地域と人口」国土交通省より

にっ ぽん こく ど めん せき やく わり こうずい はん らん く いき じん こう はん ぶん わり ぶん し さん しゅうちゅう
 ※日本において国土面積約 1 割の洪水氾濫区域に、人口の半分 (5 割)、4 分の 3 の資産が集中。

しん げん づつみ

まえ

信玄堤ができる前は……

ひと びと せい かつ

こう すい

なや

人々が生活するうえで「洪水」に悩まされていた。

かい くに げん ざい やま なし けん

ここは甲斐の国（現在の山梨県）

ふ～む

あれ、困っている
人がいるぞ！
どうしたのだろう？

たすけて……
川があふれてる

かわ ようす み
川の様子をじっと見る
かわ なが たけだ しんげん
(川の流れをよむ) 武田信玄

かわ あふ いえ た はた つ よう す
川が溢れて家や田畑が浸かっている様子

こう ずい お
ひとたび洪水が起こると……………

りょうみん こま
領民が困っておる。
なん
何とかせねば！

たけ だ しん げん
武田 信玄

す いえ なが
住む家が流される

はたけ なが
畑が流される

さく もつ と かな ひと
作物が採れずに悲しむ人

そこで信玄は、川の流れを読み、地域の人と一緒に、
「信玄堤」という治水システムを20年かけて作った。

その他にも、みんなで作った信玄堤を長い間守っていくために、

- お神輿をかついで堤防の上を歩くお祭りも行った。(みんなで歩いて堤防を踏み固める)
- 堤防を守る人たちには税金(年貢)を免除した。

各技術の説明

- 石積出し…たくさんの石を積み重ねた頑丈な堤防。
- 将棋頭…石を積み重ねたもので、将棋の駒のような形をしている。
- 堀切…段丘を切り割って、川の流れを変えた。
- 十六石…釜無川の水を高岩に向けるための16個の巨大な石。
- 高岩…高さ14～15mほどの自然の大きな岩壁。(釜無川と御勅使川をぶつけて水の力を弱める)。
- 出し…直接堤防に水がぶつからないようにする。(水の力を弱める)
- 信玄堤(本堤)…大きな堤防。
- かすみ堤…段ちがいの堤防にすることで、いったん水をあふれさせ、洪水の後に川に戻す。



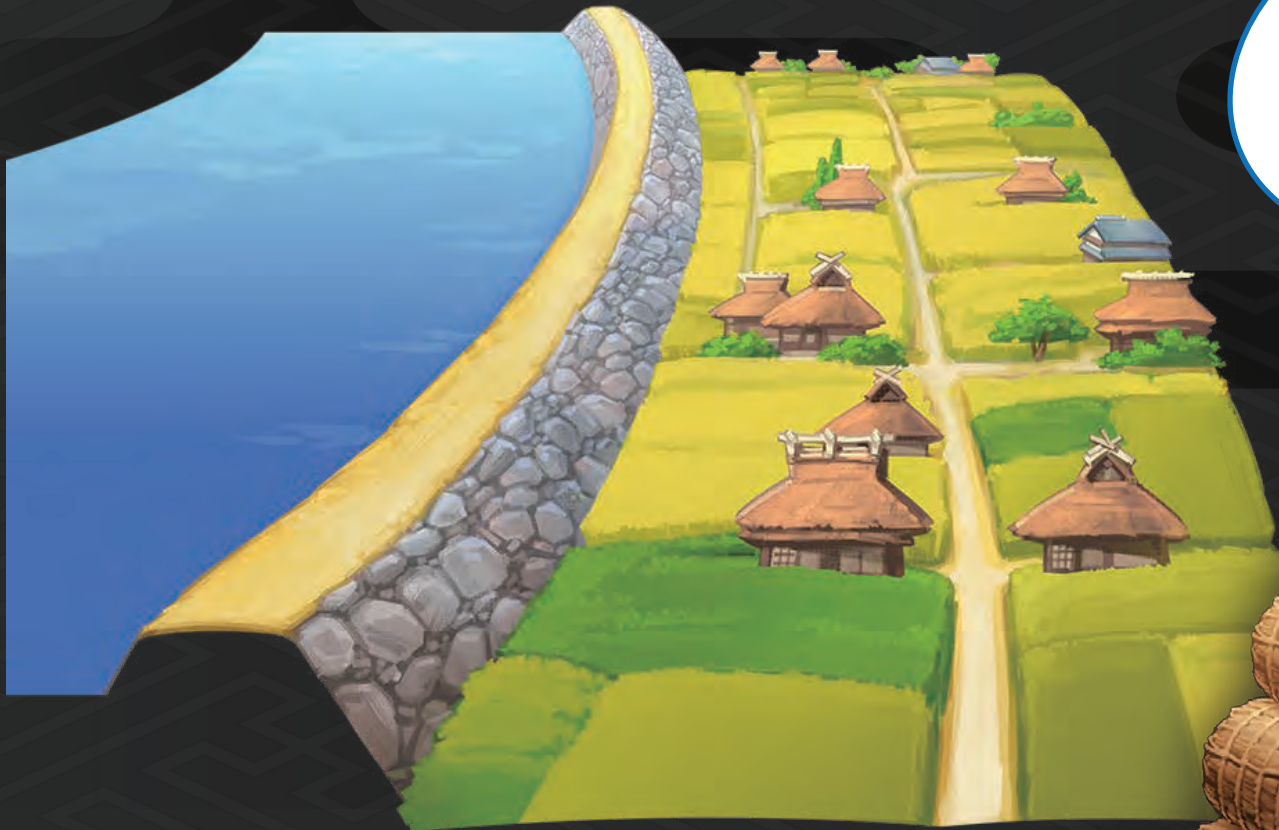
しんげんづつみ

こうか

信玄堤とその効果

しんげんづつみ

信玄堤をつくったことで…



みずながか
水の流れを変えたこと、
あふ
溢れにくいようにしたこと、
たふ
田んぼを増やしたことが、
おお
くらしを大きく
か
変えたんだね。

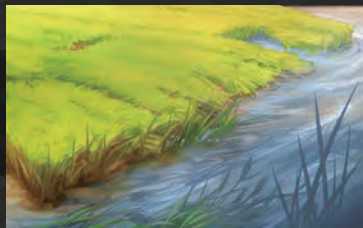


こうずい

まも

せいかつ ゆた

洪水からくらしを守ることができるようになり、生活が豊かになった。



あた

た

かい

はつ

こうちめんせき

ふ

新しく田んぼを開発した。耕地面積が増えた。

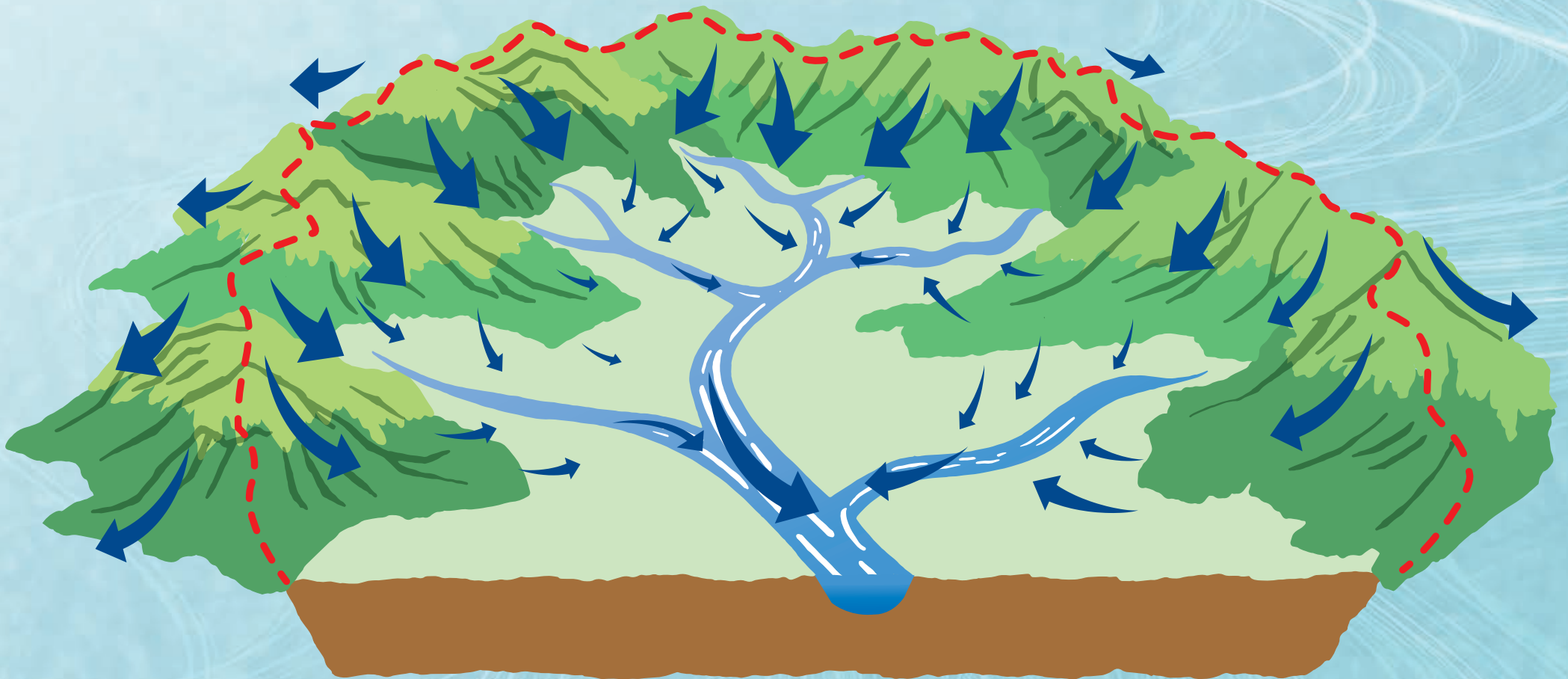


さくもつ

作物をたくさんとることができるようになった。

さん こう ぶ あめ い か なが
【参考】 ちなみに降った雨は以下のように流れます

りゅう いき
流 域



ぶ あめ あつ はん い りゅう いき
降った雨が集まる範囲を「流域」といいます。

がくしゅう すす

学習を進めるときに



調べ学習を進めるポイント

人物が取り組んだことに対して

- ・ **誰が** (～が、～は)
- ・ **何のために** (～のため、～という目的)
- ・ **何を** (取り組んだことを)
- ・ **どのように取り組んだか** (～のように取り組んだ)

というポイントでまとめると分かりやすいよ！

(例) **誰が**……武田信玄が

何のために……洪水から土地を守り、食料生産を増やすために

何を……信玄堤と新しい田んぼを

どのように取り組んだか……地域の人々と一緒に、20年という年月をかけてつくった

調べる内容によっては、
「地名」や「地形」も
考えるといいよ！

おわりに

“LEARN FROM HISTORY”

せん じん ち え まな
(先人の知恵から学ぶ)

す ば しょ ち いき はってん じんぶつ
あなたの住んでいる場所にも、地域の発展につくした人物がいるはず。

れきし あゆ ひと
歴史を歩んできた人から、

とう じ か だい ひとびと
「当時、どのような課題や人々のねがいがあったか」

ち いき はってん と く
そして、「地域の発展にどのように取り組まれたか」について

く ろう おも ふく しら
その苦労や思いを含めて調べてみましょう。

